

幼稚園・保育園のわらい
ペアの子に親しみをもって接し、楽しく遊ぶ
ことができる
カリキュラムNo.39…元気な子ども…

小学校のわらい
年長児に合わせて優しく接し、ルールを守って
元気いっぱい活動することができる
カリキュラムNo.63…元気な子ども…

みんななかよし、ゆもとっ子 ～なかよし交流会パート1～

9月

湯本保育園、ゆもと幼稚園、湯本小学校

☆ 当日までの流れ ☆

- ・6月20日(木)・第一回 打ち合わせ(湯本小・保育園)今年度の方向性についての話し合い
- ・8月2日(金)・第二回 打ち合わせ(湯本小・幼稚園・保育園)交流会の内容や役割分担について
- ・8月20日(水)・第三回 打ち合わせ(湯本小・幼稚園・保育園)交流会のグループ分け・ペア決め
- ・9月2日(月)・最終確認湯本小学校(会場にて湯本小・幼稚園・保育園)

※事前に小学生が招待状を作り届けてくれたことで、互いに期待感が高まっている。

☆ 交流の経過 ☆

活動の流れ	園児の姿(○)・環境や援助(◎)	児童の姿(○)・指導者の支援(◎)
10:15 体育館集合 1 はじめのあいさつ 先生の紹介 2 ペア探し 3 ペア遊び ・お寺の和尚さん 11:00 4 集団遊び ・じゃんけん汽車ぼっぼ ・フープリレー ・紙テープリレー  ※作戦会議 11:30 5 終わりの会をする ・歌「さんぽ」 ・感想発表 6 おわりのあいさつ 11:45 ・昇降口でさよなら	◎ペアとの出会いの場面を大事にして十分に時間を取る。小学生が考えて行動している姿を大切に、子ども同士のかかわりを大切に見守る。 ○手と手を触れ合い、遊ぶ中で小学生に対して親しみがわいてきている様子がみられた。 ◎言葉の指示だけでは分からない子どもには、「何と言ったかな?」「みんな何をしているかな?」などと自ら気づけるような援助をする。 ○一年生ついていこうと一生懸命に走る姿があった。 ○緊張感がほぐれ、はしゃいだり、自分を発揮して大きい声で話をし始める姿が見られる。 ◎はしゃぎすぎて危険を感じる場合は様子を見ながら声をかける。 ◎勝ち負けだけでなく「皆で力を合わせてできた事」や「ルールを守った事」なども認めるようにする。 ◎うれしい気持ちを共感する。 ○「勝った」「負けた」の話題で盛り上がり、次に勝つには「どうしよう?」という話し合いに参加するが、「勝ちたい!!」という意識には個人差がみられた。 ○元気に手を振り、「さよなら」をする。 ◎交流会の余韻を残して「さよなら」ができるようゆったりと見守る。	○ペア(園児)の名前を大きな声で呼び、握手をしながら挨拶をかわし、ペア(園児)の胸に、自分が作ったバッジをゆっくり丁寧に付けてあげることができた。 ◎スムーズにペア(園児)を見つけ、バッジをつけられるように支援する。 ◎ペアで親しくなれるように遊びを工夫した。 ○ジャンケン汽車ぼっぼをして体をふれあい、ペア(園児)の歩く速さに合わせて歩いていた。 ◎ペア(園児)の様子を見ながら、活動できるように声かけをした。 ○友達のペアを応援していた。 ◎勝負にこだわり過ぎて、ペアのことを考えず自分の気持ちだけで行動しないよう声かけをする。 ◎今日の交流会の話をしなが、園児を昇降口まで連れて行かせた。 ◎ペア(園児)に思いを寄せながら、手を振り見送らせた。

☆ 考 察 ☆

はじめは緊張した様子であった園児も、時間の経過と共に表情も緩み「1年生は、背が高かった」「やさしく手をつないでくれた」「また行きたい」などの感想が聞かれた。ペア(1年生)への親しみがわいた事がきっかけとなり、小学校を身近に感じられるようになった。

1年生は、常に上級生にお世話をしてもらおう立場であるが、交流会では自分たちが「お兄さん・お姉さんなんだ」という気持ちが芽生え、優しく接する姿が見られた。園児が話を聞いてくれず「思い通りに進まない」場面もあり、葛藤を経験した。楽しく遊ぶためには「ルールや約束を守ることが大切である」ということを学ぶいい機会となった。

